

誇り・味方・居場所 —私の社会保障論



第15回

歯科医療の軸足を予防に

その国の真の豊かさは、お年よりの口元に表れる —— さまざまな国を訪ね、35年前に気づいた“法則”です。

ちょうどそのころ、訪問歯科衛生士の草分け、牛山京子さんは、「寝たきり老人」と呼ばれていた人を訪ね、がく然としました。食事を楽しめない汚れきった口、痛むので付けられない入れ歯、孫に嫌われる口臭……。牛山さんは口を開けてもらえるように心を砕き、ペットボトルなどの日用品で小道具を作り、在宅口腔ケアの道を切り開いていきました。

山梨市立牧丘病院長の古屋聡さんは活動に感動し2002年、山梨お口とコミュニケーションを考える会を結成しました。古屋さんには、苦い経験がありました。手術を勧めた男性が口から食べられなくなったのです。一時絶食を指示されたのがきっかけでした。男性は退院時、胃ろうをつけ、声も小さくなり、口からはヨダレがこぼれていました。

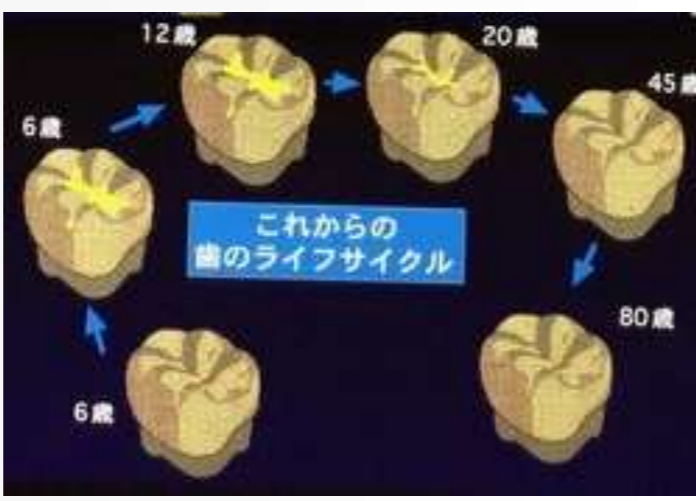
罪悪感にかられ、牛山さんにケアを頼んでみました。すると半年で口から食べられるように。そればかりか自暴自棄になっていた男性が以前の明るい社交的な雰囲気を取り戻したのです。

「食べられない患者さんを見ると、医師は胃ろうや中心静脈栄養を思い浮かべがちですが、まず口の中を診る大切さを学びました」

古屋さんは歯科衛生士を病棟にも招くことにしました。口の中の細菌による誤えん性肺炎も激減しました。



ムシ歯を「早期発見」して、削って詰める、しばらくたつと詰めた周りがムシ歯に…。元凶は「探針」を使用する日本独特の「学校健診」でした。



右図はその「早期発見」をやめ、「口の中の環境を整え見守る」方法でムシ歯が1本もなくなった状態。ムシ歯は唾液の中のカルシウムで自然治癒できるのです。

今も続く口の中の悲劇は、日本独特のもののようにです。

シソーノーローと呼ばれる歯周炎やムシ歯が「予防できる感染症」であること、そして、脳卒中や心疾患、糖尿病なども悪化させることが分かり、日本以外の先進国は政策の軸足を予防に移したのです。

予防歯科の分野で国際的に高く評価されている日本人もいます。熊谷崇さん、スウェーデンのマルメ大学から名誉博士号を受けた山形県酒田市の歯科医です。



削って詰める日本の歯科医療を改革した熊谷崇さん（左）

唾液をとって、量と性質、細菌の種類と数を調べ、これをカラーのカルテにまとめ、本人と一緒に予防に取り組むのが特徴です。例えば唾液の量が少ないとムシ歯は進みます。その原因はしばしば、医師が無造作に処方した薬、たとえば睡眠剤やカゼ薬です。こうして一人一人に合わせた予防を歯科衛生士を中心に進めています。

学校歯科医でもあった熊谷さんの影響で、ムシ歯が多いことで全国最下位だった山形県は他県を追い抜いて、優等生県に躍り出ました。

40年ほど前、「歯科医療革命」が各国で始まりました。歯の悩みから人々を救い、歯科医や歯科衛生士の仕事への誇りを高め、医療費の無用な部分を減らす——そんな革命です。

日本はこの流れから、いまも取り残されています。



歯科衛生士が独立し、その判断で歯科医師に紹介するとう国も増えました。一方、日本の歯科衛生士は「歯科医師の指示のもと」でしか働けないという制約のもとにあります。

その日本でも明るい兆しは見え始めました。

2000年に介護保険がスタートし、診療所に通えない要介護のお年寄りのもとに、歯科医と歯科衛生士が訪問する仕組みができました。

同じ2000年、口腔衛生学会の初期むし歯の診断基準が変わり、長年続いてきた探針を使った健診の指針が変わりました。「早期発見し、削って詰める」を繰り返して歯を失わせる日本の悪しき伝統がなくなりました。

フッ素は危険という先入観も変わり、歯磨剤の多くにフッ化物が添加されるようになりました。そのため、現在では12歳児のむし歯罹患率は先進国の仲間入りを果たすところまで改善しています。

2万を超える会員をもつ日本学校歯科医会が、熊谷さんの粘り強い強い訴えに動かされたのでした。

歯科衛生士

連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の指導で、1948年に誕生した資格。就業者は10年に10万人を超え、9割が診療所で働いている。歯周病やムシ歯の原因になるバイオフィルムを定期的に除去するなど、予防に不可欠な特技をもつ。先進諸国とは違い日本では開業の道が閉ざされている。

編集部註：本連載は、小社から刊行している『誇り・味方・居場所—私の社会保障論』(2016年3月10日発行)から選択して掲載しております。初出は毎日新聞朝刊に月1回掲載された「私の社会保障論」(2011年5月～2013年9月)です。したがって、記事中の人物・名称・活動・事物などで現在は亡くなっている方や変化している場合もありますのでご了解のほどお願い致します。



『誇り・味方・居場所-私の社会保障論』

大熊由紀子著

B6判変型 定価1,600円+税

*単行本

<http://lifesupport-co.com/order33/books.html>

*電子版

<http://www.shinanobook.com/genre/book/3443>

